

③上手な聴き方(高等学校)

『聴き上手になろう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	1. 本時の目標を知る。	<p>○今日は上手な聴き方について学習します。みんなの前で発表してもらったり、練習したりすることがありますが、ふざけたり恥ずかしがったりせずに積極的に取り組みましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけない ・恥ずかしがらない </div> <p>○今まで人の話を聞かなかったことで、困ったことはありませんか。</p> <p>○今までに「話を聴いてもらえなかった」と感じたことはありませんか。その時はどんな気持ちになりましたか。</p> <p>○話を聴くことは、話の内容を理解するだけでなく、相手の気持ちも理解することにつながります。すると、相手も気持ち良くなり、会話ははずみます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールが必要な理由を添えて説明する。 ・生徒に発表させる。 ・無視されたように感じた、嫌な気持ちになったなど ・「話を聴く」ことで、相手との人間関係を深めることができることを押さえる。
聴き上手になるための練習をしよう。			
	<p>2. モデリングを見て、聴き方のポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 素っ気なく</p> <p>II ポイントを意識して</p>	<p>○これから2つの聴き方を行います。どちらの聴き方のどのようところがよいか、考えながら見てください。</p> <p>○どちらの場面のどのようところがよかったですか。</p> <p>○話を聴くときのポイントをまとめましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【聴き方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の方に身体を向ける ・話している人を見る ・相づちをうつ・うなずく ・最後まで話を聴く </div> <p>○最初に、話をしている人に体を向け、その人を見て話を聴きます。うなずいたり、相づちを打つと、話している人も聴いてもらっていると感じます。話している途中で質問したり、話しかけたりせず、最後まで話を聴くことも大切です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士または生徒と教師で演じさせる。生徒同士で行う場合は事前に打ち合わせておくといよい。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">※モデリングシナリオ参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話したときの気持ちにどのような違いがあったか①と②を比較させ、「話す役」に聞く。 ・ワークシートを配布し、聴き方のポイントを記入させる。 ・示したポイント以外の非言語的なポイント(表情、声のトーンなど)も重要であることを押さえる。
やってみる	3. 聴き方のポイントに気を付けながら練習①(1対1で話を聴く)をする。	<p>○これから練習します。3人グループを作り、「話す役」「聴く役」「観察役」を決めてください。</p> <p>○役割が決まったら、聴き方のポイントに気を付けながら練習しましょう。</p> <p>○1回の練習が終わったら「観察役」は、よかつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをする。 ・「観察者」は、ポイントを押し

	<p>4. 練習①を振り返る。</p> <p>5. 聴き方のポイントに気を付けながら練習②(多人数で話を聴く場面)をする。</p>	<p>たところを、伝えてください。</p> <p>○役割を交替しながら、全ての役割を練習します。</p> <p>○全ての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p> <p>○4つのポイント以外に工夫したことを、いくつかのグループに発表してもらいましょう。</p> <p>○次は授業や講演会など、多人数で話を聴く場面について考えてみましょう。「1対1」で話を聴く場合との違いはどのような点でしょうか。</p> <p>○どちらの場合でも聴き方の基本は同じです。話をしている人は、聴いてもらっていないと感じると、嫌な思いをします。話している人の方を向いて静かに聴き、ときどきうなずいたり、目が合ったら微笑んだりしてもらおうと話しやすいものです。</p> <p>○それでは練習をします。グループで1人ずつ、一つのテーマを選んで話してください。他の人は、聴き方のポイントを押さえて聴いてください。1人が話す時間は1分です。</p> <p>○4つのポイント以外のポイントを加えてもいいです。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>テーマ：今日の出来事 好きな教科 お気に入りの歌手、タレント など</p> </div> <p>○交替して全員が話し終えたら、ワークシートに自己評価をしてください。また、話を聴いてもらったときの気持ちなど学習の感想も書きましょう。</p>	<p>さえて実施できているかを観察するよう促す。</p> <p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを自己評価させる。 ・行動の気付き以外に、実施者の感情・気持ちも振り返るように促す。 ・数グループに発表させ、その都度褒める。 ・グループで考えて、発表させる。 ・ポイントを押さえて話を聴いているか確認する。 ・なるべく生徒が話しやすいテーマを設定する。 ・話す前に内容をワークシートに記入させてもよい。 ・話す人は顔をあげて話すように指示する。 ・ポイントを自己評価させる。
<p>ふりかえる</p>	<p>7. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日は「上手な聴き方」を練習しました。</p> <p>○自分が話をしているとき、きちんと聴いてもらっていないと感じると、嫌な思いをする場合があります。「上手な聴き方」を身に付けて、自分も相手も大切にしたコミュニケーションができるよう、聴き方のポイントを活用しましょう。</p> <p>○今日から1週間、スキルの定着をはかるためにチャレンジ週間を設けます。チャレンジ週間は、ふだんの生活の中で、今日の学習を活かしたかどうかを確認します。チャレンジ週間の間、自分の行動や学習活動を振り返り、特に</p>	<p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入させ、回収する。 ・多人数で話を聴く場面を想定して実践期間を設けることを伝え、やり方を説明する。

		<p>集中して取り組む必要がある授業を取り上げ、その授業の終了時ごとに自己評価シートに記入し、1週間後に提出してください。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 自己評価シートは担任が回収した後、各教科の担当者にも回覧し、生徒の状況の変化を知らせ、声かけをお願いします。• 1分間スピーチなどを実施してもよい。
--	--	---	---

モデリングシナリオ

場面設定

昼休み、教室で生徒Aが生徒Bに話しかけます。

生徒A…話す役。 生徒B…聴く役。

モデリングⅠ 素っ気なく聴く。

生徒Bは本を読んでいて、生徒Aの話をほとんど聴いていない。

生徒A：ねえ、今朝の特課のとき、先生に叱られてちゃってさ。

生徒B：(本を読みながら) へえー。

生徒A：ちゃんと聞いている？

生徒B：(本から目を離すが、Aを見ずに) 聞いているよ。

生徒A：昨日、遅刻して注意されてたのに、今日も遅れちゃって…

生徒B：(時計を見て、話をさえぎり) そうだ、次、理科室で授業だったよね。早く行こう。

モデリングⅡ ポイントを意識して聴く。

(相手の方に体をむけて、相手を見て、うなずき・あいづち、最後まで聴く)

生徒Bは、Aの話を一息懸命聴く。Aの話に共感し、Aがさらに話したくなるように、態度や表情を使って関心を示しながら聴く。

生徒A：ねえ、今朝の特課のとき、先生に叱られちゃってさ。

生徒B：(本を読むのを止めて、Aの方を向く) どうして叱られたの？

生徒A：昨日、遅刻して注意されてたのに、また今日も寝坊して遅れちゃって…。しかも、宿題も忘れちゃってさ。

生徒B：それは叱られるのも仕方ないかもね。夜遅くまで、何かやってたの？

生徒A：それがね、この前、新しいゲームを買ってさ、ついつい夜中までやってたんだ。それで、朝、起きれなくて。

生徒B：そうなんだ、それは、まずいよね。

3. 活用場面のアレンジ例

「③上手な聴き方」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

休み時間友達の話をおくとき

授業中友達や先生のおくとき

社会体育で指導者の話を聴くとき

ゲストティーチャーのおくとき

先輩・後輩のおくとき

講演や集会で話を聴くとき

部活動中、先生や先輩・後輩・友達のおくとき